

地区スローガン

**“希望を語ろう”**

— We are Rotary, together —

2023~2024年度 国際ロータリー会長 ゴードン R. マツキナリー  
2023~2024年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー 高丹秀篤



世界に希望を生み出そう

会 長	坂田 清茂
会長エレクト	斉藤 一英
幹 事	織田 裕之
副 会 長	橋本 和也
//	武正 進介
//	八木 茂幸

**4 会長の時間**



会長 坂田 清茂

クラブテーマ 充実した例会に

第 2883 回 No.61-25

2024年3月7日(木) 第1例会

水と衛生月間

『卓話例会』

プログラム

- 12:30 1 点鐘
- 2 国歌斉唱
- 3 ロータリーソング『奉仕の理想』
- 4 会長の時間
- 5 幹事報告
- 6 地区及び委員会報告
- 7 米山奨学生へ今月の奨学金授与
- 8 交換留学生へ今月のお小遣い授与
- 9 結婚祝い・誕生祝い
- 10 卓話  
卓話者紹介 国際奉仕委員長 須永秀和  
卓話者 レロンソン様『ベトナム人材について』  
お礼のことば 副会長 八木茂幸
- 11 ニコニコBOX発表
- 12 出席率発表
- 13 次回プログラム発表
- 13:30 14 点鐘

皆さん、こんにちは。3月第1例会にお越しいただきまして、ありがとうございます。

先週、私の中国に対しての感じ方、特に不動産、空き家問題等の話しをしたらそれより就職できない事の方が大きい問題だと王君から話がありました。

私自身が20年ほど前中国に興味を持ち中国に通って会社を出そうか出すまいか考えていて、一昨日、日本に来られたレロンソンさんはベトナムからお越しいただきました。

最終的に私はベトナムに会社を作ることになりました。なぜ中国からベトナムに変わったのかという話を今日はしたいと思います。

今から14年程前、漁船衝突事故がありまして、海上保安庁の巡視船に中国漁船が衝突し当時、悪夢の民主党政権時代ですけど…日本国中がごった返したという出来事がありました。同時期に、中国のいろんな箇所まで反日デモが大量に行われていたんですね。

日本のレストランが、焼き討ちにあたり、結構派手なデモが各地で行われて、私はその時もうすでに中国人20人ぐらい雇用してましたが『こりゃ、いかな』ということになりそろそろ中国じゃない他の国も探さなくては、という風に考えるようになりました。

たまたま、妻とまだ学生だった2人の息子とベトナムに旅行しまして、そこで見たベトナムの姿が、活気で輝いていてびっくりしたんですね。そして若い。本当に驚いてこんな国があるのかと思ったんですよ。

次は『ベトナム来るな』ということで帰って3日後ぐらいに実習生を派遣する会社に電話して、ベトナムから人を取りたいんだけどと言って、そこからスタートしま

本庄RC事務局

〒367-0021 本庄市東台2-3-1F KRSビル4F  
TEL: 0495-22-7522 FAX: 0495-22-3571  
E-mail: honjorc7522@gmail.com  
URL: https://www.honjyo-rc.org



ホームページQRコード

した。

その時に『こういう会社がありますよ』と言って紹介されたのが、卓話していただくレロンソン社長の会社なんです。

彼は今年62歳になってますが当時13年前、かろうじて40代でしたけど、彼その時から堂々としてるんですよ。対する私、こう何かチョロチョロしてる感じで、国をしょってる人っていうのは、やっぱりこう貫禄あるなと思って、同年代もしくは年上だろうと思っていたら9歳も年下だったっていうことで(笑)

この人だったら信用できるなと思って中国からベトナムに実習生の雇用を切り替えました。それから前回で確か通算53回目です。ベトナム出張。

皆さんロータリーのメンバーと行くのが54回目かな。レロンソン氏ともベトナムで数回会ってるうちに、『会社出しませんか』と彼から言われました。なぜならば、日本とベトナムは両方とも発展しなきゃいけないんだと。互いに持ってないものを補い合おうということで『やってみるか』ということで。国際協力銀行の融資のオッケーをもらい経済産業大臣から元気な会社を表彰するという、中小企業300社に選ばれ、現在に至るということでもあります。

ベトナムと日本は昨年、日越有効50周年を迎えまして、非常に仲がいい国の1つだと思います。

なぜベトナムに会社を起こしたか、…南シナ海、あそこを封鎖されると日本の経済は成り立たない。インドネシアの方を回っていかないと石油入ってきませんので、ものすごいコスト負担になります。南シナ海を守るのは誰だ、と。日本の海上自衛隊は守れないんですよ。頼むしかないですよ。だから、ベトナムの海軍を強くして、海を守ってもらわないと、多分日本の経済って成り立たないんですよ。ということでベトナムに会社を出したんですね。とにかくベトナムを盛り上げたい。それはなぜか。日本のためです。日本国益のために盛り上げたいという意思でやっております。

もっといっぱい喋りたいですがこの辺にしたいと思います。今日は1年間通してメインとなる卓話だと僕は思ってます。期待して皆さん聞いてあげてください。ご清聴ありがとうございました。



### 幹事 織田 裕之

来年度青少年交換プログラムの派遣国がチェコかスロバキアに決まりました。

また地区大会でロータリー希望の風のチャリティイベントが開催されます。当日バンクシー版画展があります。一般参加者が多らしく、駐車場が込み合いそうなので、当日参加される方は当日バスは出ないので、乗り合わせで行って早めに駐車場を確保していただければと思います。

また、ガバナー月信が送られてきております。今日ペーパー用意しました。回覧いたします。

以上でございます。

財団表彰で1000ドル達成ということで、ポールハリスフェローという表彰をされました。ご報告いたします。マルチフル2000ドルです。ありがとうございます。



阪上清之介会員 五十嵐敦子会員

僭越ではございますが、一言ご挨拶を申し上げます。本日はポールハリスフェローの称号を賜りまして、大変ありがとうございました。

10数年になろうかと思えます。意味わからなく集金をされておりましたけれども(笑)、やっと今日十数年來の意味がわかりました。誠にありがとうございました。

### 王 睿涵さん

今日は最後の報告になると思います。1年間大変お世話になりました。ありがとうございます。

3月大学卒業しまして、4月からエバラ入社します。

話しかけてくれた会員の皆さんありがとうございました。大変貴重な経験と大切な思い出です。

そして、坂田会長、毎回面白い話をして言っていたら、この発表の場で鍛えられました。ありがとうございました。

そして私のカウンセラーさんの渋澤さん、いつもお世話になっております。特に最近、引っ越しのことでたくさん助けていただき、本当にありがとうございました。以上です。

今まで皆さんありがとうございました。



### 邱子瑜さん

2月もいろんな体験をしました。池田さん、一緒に雪見ました。私は初めて見ました。だからすごく楽しかったです。

石原さんと一緒に水族館行きました。茨城県の水族館です。ありがとうございます。

遊びに連れて行っていただいて本当にありがとうございました。これからも頑張ります。以上です。







井田正志 / 永井保之  
武正進介 / 中谷嘉宏  
高橋幸宏 / 温井康宏



織田裕之 / 笠本 盛  
梅村孝雄 / 武井 晶裕  
寺本和彦 / 茂木 正  
坂田清茂 / 五十嵐敦子



卓話者紹介  
国際奉仕委員長 須永秀和

レロンソン様の経歴をご紹介します。

1970年にベトナムの北部ハノイで生まれいまはホーチミンにいらっしゃいます。

ホーチミン工科大学を卒業後、東京農工大学大学院工学研究科の修士課程を修了され日本の経済産業省中小企業基盤整備機構アドバイザーに就任されております。

衆議院ならびに参議院で与党が参考人として、外国人実態調査法案・技能実施法案に関する意見陳述および質疑応答をなさるぐらい、ベトナムと日本の架け橋をされています。実は経歴がその他たくさんあります。エスハイというメインの会社の代表者をされておられます。

昨年10月に私も行ってまいりまして人材を派遣するだけではなく日本語の学習を朝から晩まできっちりとし、今回そういう話を取り込みながらお話をさせていただきます。楽しんでお聞きなさってください。卓話後、ベトナム行ってみたいというお気持ちがありましたらぜひお申し付けください。どうぞよろしく願います。

Esuhai Co., Ltd.

代表取締役社長

レロンソン 氏

はい。皆様こんにちは。はい、ただいまご紹介いただきました会社代表ホーチミン市から参りましたベトナム人のレロンソンと申します。

本日、皆様お招きいただきまして誠にありがとうございます。最初、坂田社長をはじめ皆様のご健勝、企業様のご発展、心よりお祈りしておりますので、本日よろしく願います。

それでは、限られた時間、30分内で、本日ぜひ皆様に、テーマとしましてベトナムの人材の採用戦略についてお話



をさせていただきます。

坂田社長もベトナム進出しておりますし、皆さんもベトナムのこともよくご存知だと思いますがもっとベトナムのことを知っていただき事業だけでなく文化的な交流なども深めていっていただければと思っております。

まず私のことについて、ここまでの事業を含めて、ベトナム人材採用戦略についてお話することになったかお話ししていきたいと思っております。

大学時代、私は機械工学を勉強しました。当時まだベトナムの経済力は、gdpで500ドルぐらいですね。今4000ドルぐらいになってますが人口そのものが8000万人、今1億人となっております。

当時大学出たら海外へ行きたい、学びたいと中学生から思いがありベルリン崩壊あったことで行けなくなり。いわゆる社会主義国家として東ドイツしか行けない、ロシアとか。

日本はもう先進国、精密機械、金型関係、非常に世界トップクラスのレベルじゃあ卒業したら日本に行くってことで卒業してすぐに日本語を勉強して、日本に参りました。

1995年、日本に来て、埼玉県大宮市の日本語学校を経てから東京農工大学に進学したんですけども、目的は、日本で勉強し中小企業金型製作について仕事をし身につけて、将来ベトナムを変える会社経営をしていきたいという思いが学生時代からありました。

2000年まで5年間、東京農工大学金型関係に関して研究してまいりました。日本の産業は大手企業、最大手企業ばかりだというイメージでしたが、4000、400万社があり、その中の9割以上中小企業で日本の経済、産業を支えているのは中小企業だというのが分かりました。人口の中で6500万人の労働者がいる。それと比較しベトナム側は同じく労働人口が6000万人ぐらいいるのにベトナム企業は未だにまだ76万社しか登録していない。

結果的に、いい大学出ても希望する就職もなかなかない、勉強済みでも実践できない。つまり、海外特に日本に来たら中小企業の中で就職できて、それもちろん日本は高い給料ですから、日本にきて、仕事を身につけ、将来ベトナムにもどり事業をおこし、キャリア繋がっていくことが今、日本に来ることととっても将来、いい人生になっていくということが皆分かっています。ベトナム人、どんどん日本に来たくなっています。

2000年、私は東京農科大学修士課程終了した時その当時ですね、新聞配達4年間、朝日新聞奨学生として毎日一面の新聞を読みながら日本の社会も知ることができ将来、日本の少子高齢社会や、また当時は中国人の方が技能実習生、主に1年間10万人も来て、日本中小企業の中で支えてるってことも分かっていて、一方、ベトナムから来たものが年間1000人しかおらず、留学生としてきたのが、年間数十名しかいなかった。

勉強もできて、仕事もできて、すごくいい将来になっていくこんな素晴らしい国なのに、なぜベトナム人が来ないのかってこと。

私の考えてるのが、日本に来たらですね、まず日本語修得ですがそれより、文化そのもの、経済力だけではなくて、もうこういう国目指していくべきだと思っております。

そのためにただ稼ぎに来て、終わったらベトナム帰って何もしないということではなくてまず日本語を学習して、日本の文化やスキルなど身に付けて、準備してから日本の企業に就職できるように!と、そのために、ベトナムで2006年、エスハイという会社を設立し同時に日本語学校を設立しました。

ここまで18年間その学校をやってまいりましたけれども、現在、ベトナムでは最も大きい規模の学校として、140名の教員持ちまして、年間3000名以上に日本語教育をしております。日本は学生が社会人として就職してから会社で社員教育は徹底的にやっているというので、私どもはこの日本文化についても教育するという形でベトナムでもやりたいということでスキル教育の学習法人も作りました。

この2つの柱で、今現在ベトナム各地、大学や技術短大など40個ぐらい提携しております。

1年生から日本語と日本の文化そういった教育をしながら日本の企業をマッチングするっていうことで、事業としてこの18年間やってまいりました。

年間で技能実習生やエンジニア、技術系のエンジニア、また介護、医療関係、留学生も含めて、今現在、1万6000人日本に送り出すことができました。一部、8000名以上、ベトナム人材がもうすでにベトナム帰ってきて、坂田社長の現地会社も含めてですね。ベトナムに帰ったらベトナムの中でのリーダー格以上の幹部人材になりまた起業家も育成されて、工場を作ることできたりしております。

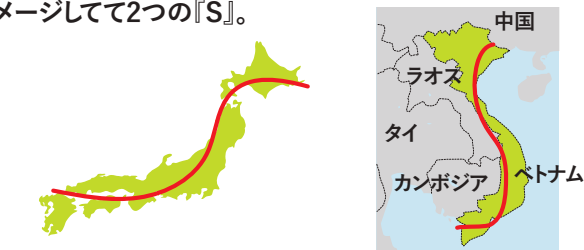
これからのことですが、日本経営者として1番課題となっているのが人材不足ということ。事業さらにもっと拡張、発展していくためには、日本国内だけでなく、海外への展開やマーケティングを広げていくこと。やはり日本人材のみでは困難な事態にもなってきております。そのためには、どこかの国から採用するかっていう端的な採用だけでなく、1年後、2年後、3年後、5年後、10年後、また20年後、引き続き弊社グループは100年続けてこの事業をやってまいりたいと思っております。

日本はこれから発展していくためにはベトナムに応援して経済力をつけていく、そのために南シナ海強化していくと、そういう関係でつながるために凝固していくべきだと思っております。

私の夢は1億人のベトナム人、いつか1割の人口が私のように日本語を喋って日本企業様と一緒に仕事できるようになったら、さらに日本もベトナムも発展していけると思っております。そのためにこの事業をやっているんです。

エスハイという会社の名前は実際意味がありまして、エスはローマ字の『S』でベトナムの国土の形は『S』でベトナム人誰もが自分の国は『S』の形と思っております。

一方、天気情報で日本列島みるとこれも『S』の形だとイメージして2つの『S』。



そして『ハイ』はベトナム語でも日本語でも肯定の『ハイ』で2つ『ハイ』。両国の関係、それぞれの国の強みを活かし、弱みを補いマイナスの部分全部プラスにする。そういう名前にしてここまでやってまいりました。

そん中で、坂田社長の会社、日本の中では中小企業ですがベトナムでは非常に素晴らしい会社になっております。政治ではないんですけども、発展していくためにベトナム人材



で支えていきたいということで思っております。

人手不足について、大都市よりも地方の方が非常に人手不足問題は大きく、各種企業団体ご一行がよくベトナム弊社訪問し、やはり人材だということになっています。

人材に困らないようにどうすればいいかというご相談もあつたりしております。

今、新潟県はベトナムと姉妹都市のような関係を締結してましてどうやって新潟県産業、企業様を支えていかなど知事もベトナムを訪問して下さったりという関係になってきております。

そういうことで、皆様、本日貴重な機会をいただきまして、ありがとうございます。

さらにもっと目標、目的をもって案内出来る人材を増やしてやっていきます。個別の対応もしながら、皆様の人材採用戦略に携わっていきたくと思っています。

ぜひ、それぞれの分野で皆様がさらに発展して行かれることを私も願っております。そのために私になにができるかを考て努めて参ります。

本日はこのような話しをさせていただき本当に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## 謝辞 副会長 八木茂幸

レロンソンさん、今日は大変貴重な話をさせていただき、ありがとうございました。

お話を伺いして、本当に人材が不足をして高齢化が進んでる中で大変重要なお話をいただいたなっていう風に今、考えております。

私どもは建設業なんですけど、高齢化は数十年前からずっと続いて言われておまして、そして、最近の傾向なんですけども、もうその中で頑張ってる会社はもうそれこそさき市場になって、最近の話なんですけどもね。

通常取引から5割ぐらい値上げをしてきて、これできなければ取引は結構ですよっていうような感じの時代になってきてましてね。

ちょっと少しいびつな取引の形になりつつあるなという風に考えておまして、そういう意味では、現地でそれこそ立ち上げた人材の会社、日本をよくご存知の中で、これから本当に力になっていただけるのかなという風に思っています。

来月はあのメンバーがたくさんお邪魔いたしますけど、ぜひまた色々学ばせていただきたいと思っております。

よろしくお願いたします。







ニコニコBOX委員会  
小島賢大

合計 49,000円

坂田清茂 Message レロンソン社長、本日の卓話どうぞ  
よろしくお祈いします。

坂田清茂／渋谷修身／坂本優蔵／鈴木 純／池田敦司  
八木茂幸／春山茂之／永井保之／武正進介／石原美枝  
茂木 聡／中島高夫／橋本和也／笠本 盛／斉藤一英  
園部 守／須永秀和／滝澤博史／井河彰久／政裕美子  
戸谷清一／渋谷健司／五十嵐敦子／井古田悦男

24,000円

織田裕之 Message 次回は移動例会3月17日(日)に地区大会が  
開催されます。どうぞよろしくお祈いいたします。

織田裕之／温井康宏／長岡 真／中谷嘉宏／巴 高志  
矢島淳一／岡崎吉宏／井田正志／萩原達夫／戸谷元一  
桜井祐治／長谷川京子

12,000円

ニコニコBOX Message 春ですけど・・・お出かけの際には雪情報に  
お気をつけください。

高橋祐介／小田切浩／高橋順容／高木寿実／寺本和彦  
間正良昭／櫻澤真琴／阪上清之介

8,000円

金井福則 Message 昨日、長男が博士号取得できました！

5,000円

出席委員会  
高木寿実



会員数 93名 (出席免除会員 2 / 出席義務会員数 91)

本日の出席会員数 51名

本日の出席率 55.9%



プログラム委員長 池田敦司

先ほど来からご案内の通り、次会  
の例会は地区大会となっております。

3月17日曜日ですので、お間違  
えのないようお願いをいたします。

9時受付開始、第1部の式典9時  
半店商でございます。場所は深谷市

文化会館でございます。クラブジャケット、ネクタイ・バッジを着  
用の上、乗り合わせて。現地集合となっておりますので、皆様  
のご参加をお待ちしております。

よろしくお祈いいたします。

### 会長より補足

ちょっと時間が余ってますので言い足りなかったことを言  
わせていただきます。

レロンソン社長の会社、エスハイっていう会社は日本しか  
やってません。

今円安じゃないですか。なのでベトナム人もそうなんで  
すけど、他の国の人は今、韓国人気なんですよ。

韓国の方がウォンが高いんですよ。なのでこっちの方  
が儲かるんで、そっち行っちゃう人増えましたね。

でもエスハイ社は日本しかやってませんので安心してお  
付き合いくださいが1つ。

あとさっき両国でその補完し合ってるっていう話の中で  
僕もこれこれ聞いて驚いたんですけど、日本人の1億  
2000万人の平均年齢って知ってます？。45歳なんですよ。  
今45歳。ベトナム27歳です。

1億人ですよ。1億人の平均年齢が約20歳違うんで  
すよ。だから それは若手人材いるに決まってますよね。

それ非常にわかりやすい話だなと思って。だから日本  
の今まで培ってきた技術力をベトナム人は欲していて、  
日本人は、さっき八木副会長からお話あったように、人手  
が足りてないんですよ。だから、これは補完し合えるんで  
す。っていうことで、ちょっと余談・・・でもないけど、補足しま  
した(笑)それでは閉会の点鐘いたします。



卓話例会の様子を動画  
にてご視聴ください★



YouTube

3月10日 ローター希望の風チャリティー講演会 ご協力ありがとうございました。



スポットライト  
HIGHLIGHT  
ナイスショット



あとがき



本日の例会に参加して

例会で席に着くと、自分の周囲しか見えませんが、毎週の広報を拝見しますと元気な会員の皆様方のとびっきりの笑顔が溢れています。

2月の広報を手に、私の口元も自然と緩みます。他の行事と重なり私にしては、珍しく2月は例会に出席できませんでした。1ヶ月ぶりに会員の皆様と挨拶を交わして、心が和みました。

本日の卓話者は、ベトナムホーチミン市から来訪されましたLELONG SAN氏とふるたによしあき氏。LELONG SAN氏の卓話を通して「人材採用戦略」としてのベトナムと日本の現状を分かりやすくお話頂きました。

国と国、地域と地域、産業と産業の両国のつながりをあらためて認識できるのではないのでしょうか。

約9千万人の人口の60%が30歳以下という、エネルギー溢れる若者で満ち溢れる国ベトナム。広大な大地で育った人が多いため、おおらかで人情も厚く、純粋な人が多いと言われています。

のんびりとした自然や素朴な街並み、そんなベトナムに私は4月に行ってきます。

五十嵐敦子

2023-2024年度 公共イメージ委員会

担当副会長／橋本和也  
委員長／須田礼子 副委員長／小田切浩  
委員／渋谷健司・金井福則・長崎隆司・中谷嘉宏・内田 徹